

百年の信頼を、未来につなげる

2016年3月期決算説明会
株式会社鳥羽洋行

2016年5月25日

証券コード:7472

- 1. 2016年3月期決算概況**
- 2. 2017年3月期業績予想**
- 3. 経営課題と重点施策の進捗状況**
- 4. 株主還元**

1. 2016年3月期決算概況

2016年3月期決算のポイント

連結決算初年度

中国（上海子会社）が連結化

連・単ともに増収増益

(1) リーマンショック後、初めて売上高200億円を突破

◇デジタル家電、自動車・車載部品関連の得意先中心に
3部門(制御・FA・産業各機器)の需要が好調に推移。

◇自動化ニーズが続く中国では、FA機器需要が堅調。

(2) 粗利益率は15.1%

◇前年度の14.6%(単体)からは0.5ポイント改善

(3) フィルター(日本インテグリス)の大型商品化効果

◇フィルターの売上高は前年同期比倍増

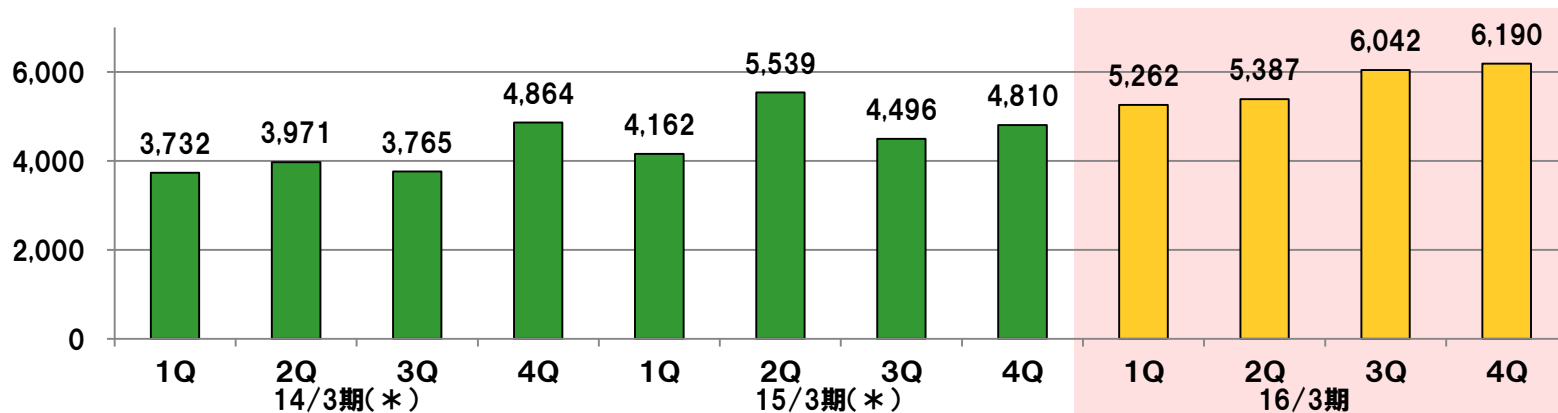
部門別の販売状況

	2016年3月期の状況
制御機器	<ul style="list-style-type: none">● 主力の空気圧機器と流体継ぎ手は、前期に続き物流機器メーカー及び半導体関連の得意先向けに販売増加。● センサーは、スマホ・タブレット端末関連の得意先向けに販売が好調。
FA機器	<ul style="list-style-type: none">● ロボットは、国内外において自動化及び省力化機器ニーズで高い需要が続き、全体の売上に貢献。● スマートフォンに関連する得意先からのレーザー溶接機や精密塗布装置の販売は前期に続き堅調維持。● 車載部品関連の得意先向けに組立てラインや洗浄機の販売が貢献。
産業機器	<ul style="list-style-type: none">● ろ過フィルターは大型商品化し成長中。● 電動ドライバーはデジタル機器、精密機器に関連する得意先中心に、幅広い得意先向けに前期に続いて販売好調維持。● クリーンルーム大型案件の売上が貢献。

四半期別業績推移

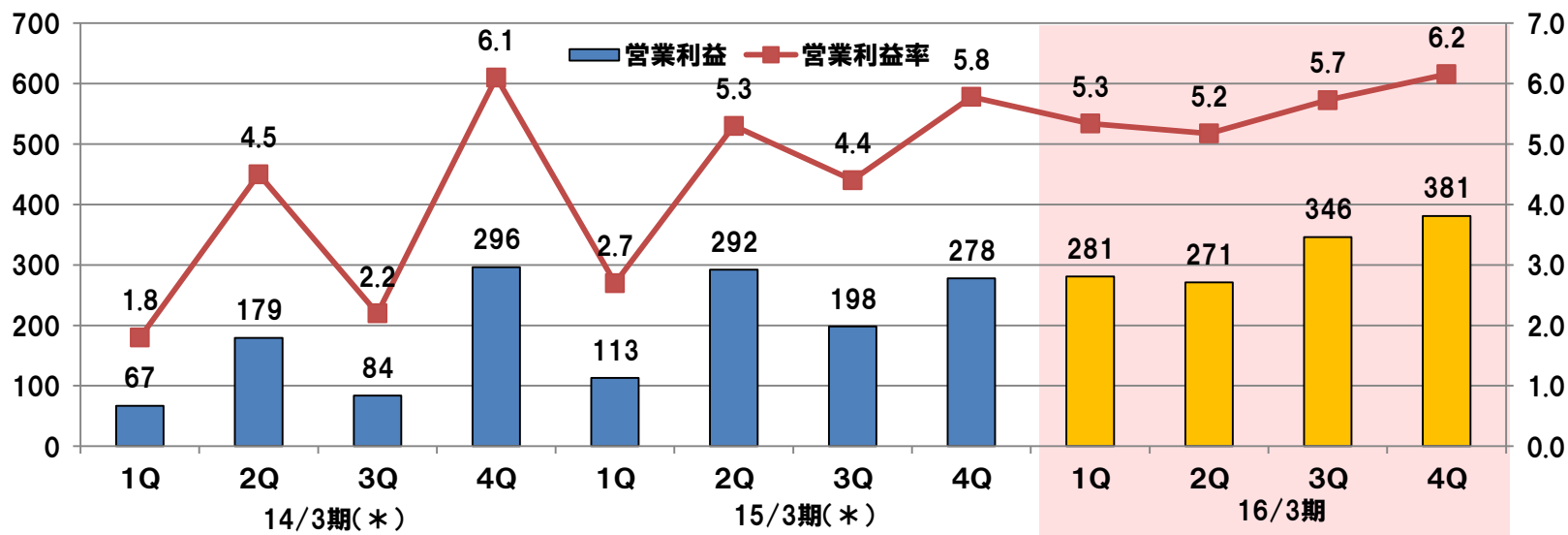
四半期別 売上高推移

(単位:百万円、%)



四半期別 営業利益/営業利益率の推移

(単位:百万円、%)



(*) 当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、14/3期および15/3期までは単体ベース。

損益概要

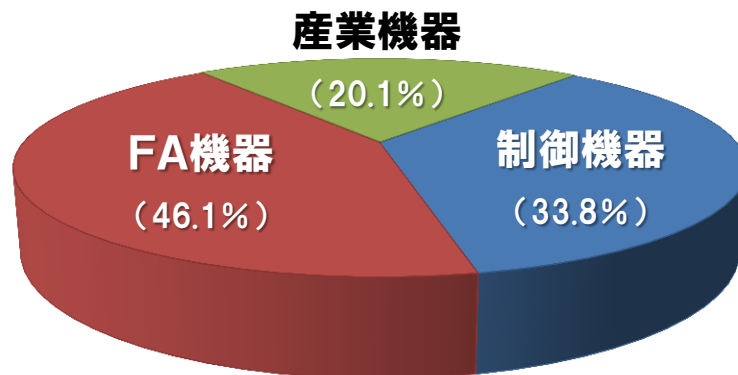
(単位:百万円)

	15/3期 (単体)	16/3期		
		連結	前同比(*)	従来予想
売上高	19,007	22,881	-	21,500
営業利益	881	1,279	-	1,050
(営業利益率)	(4.6%)	(5.6%)	-	(4.9%)
経常利益	1,040	1,379	-	1,150
(経常利益率)	(5.5%)	(6.0%)	-	(5.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	664	895	-	750

(*)当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、連結の前年同期比は記載しておりません。

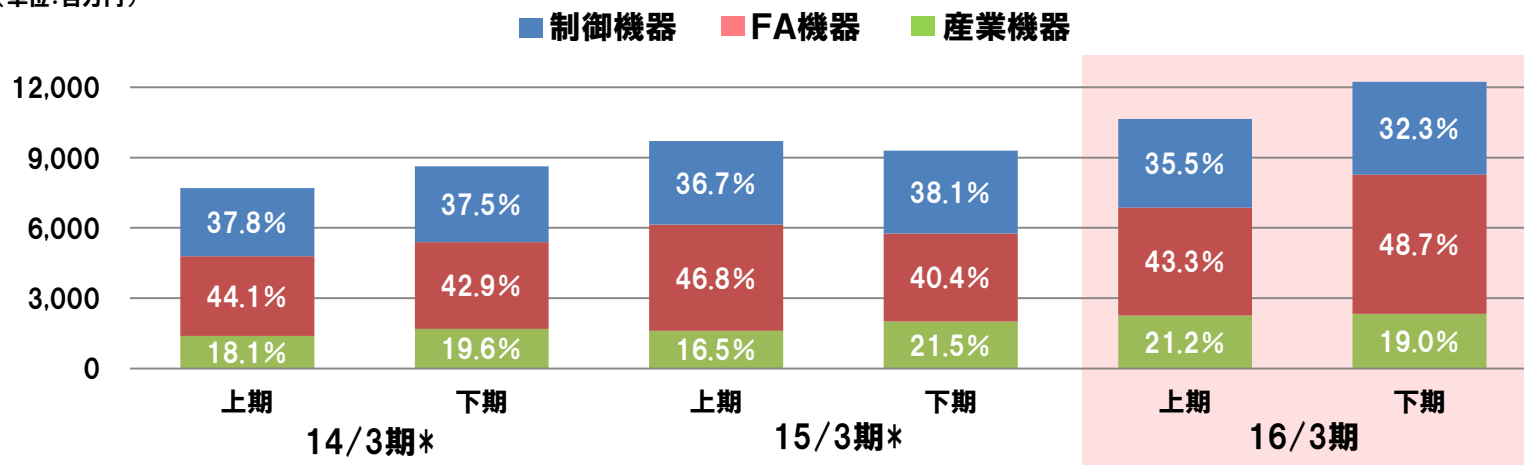
取扱商品別売上構成比

16/3（連結ベース）
売上高22,881百万円



取扱商品別売上構成比推移

（単位：百万円）



(*）当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、14/3期及び15/3期は単体ベース。

貸借対照表

(単位:百万円)

	15/3末*	構成比	16/3末	構成比
流動資産	14,600	74.5%	17,395	80.8%
現金・預金	7,125	36.3%	7,653	35.5%
受取手形・売掛金※	7,297	37.2%	9,536	44.3%
商品	78	0.4%	82	0.4%
固定資産	5,005	25.5%	4,142	19.2%
資産合計	19,606	100.0%	21,537	100.0%
流動負債	5,420	27.6%	6,730	31.2%
支払手形・買掛金	4,906	25.0%	5,998	27.9%
固定負債	319	1.6%	250	1.2%
(有利子負債)	-	-	-	-
負債合計	5,739	29.3%	6,980	32.4%
純資産合計	13,866	70.7%	14,557	67.6%
負債純資産合計	19,606	100.0%	21,537	100.0%

(※)電子記録債権を含む

(*)当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、15/3末は単体ベース。

四半期キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	15/3期*	16/3期
営業キャッシュフロー	576	37
投資キャッシュフロー	△90	975
財務キャッシュフロー(△は減少)	△1,025	△258
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△539	741
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	285
現金及び現金同等物の期末残高	6,325	7,352

(*)当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、15/3は単体ベース。

2. 2017年3月期業績予想

今期の経営環境

懸念される要因

- 中国・欧州の景気後退懸念
- スマホ・タブレット端末市場のピークアウト
- 為替変動による設備投資マインドの低下懸念

当社は何をするか

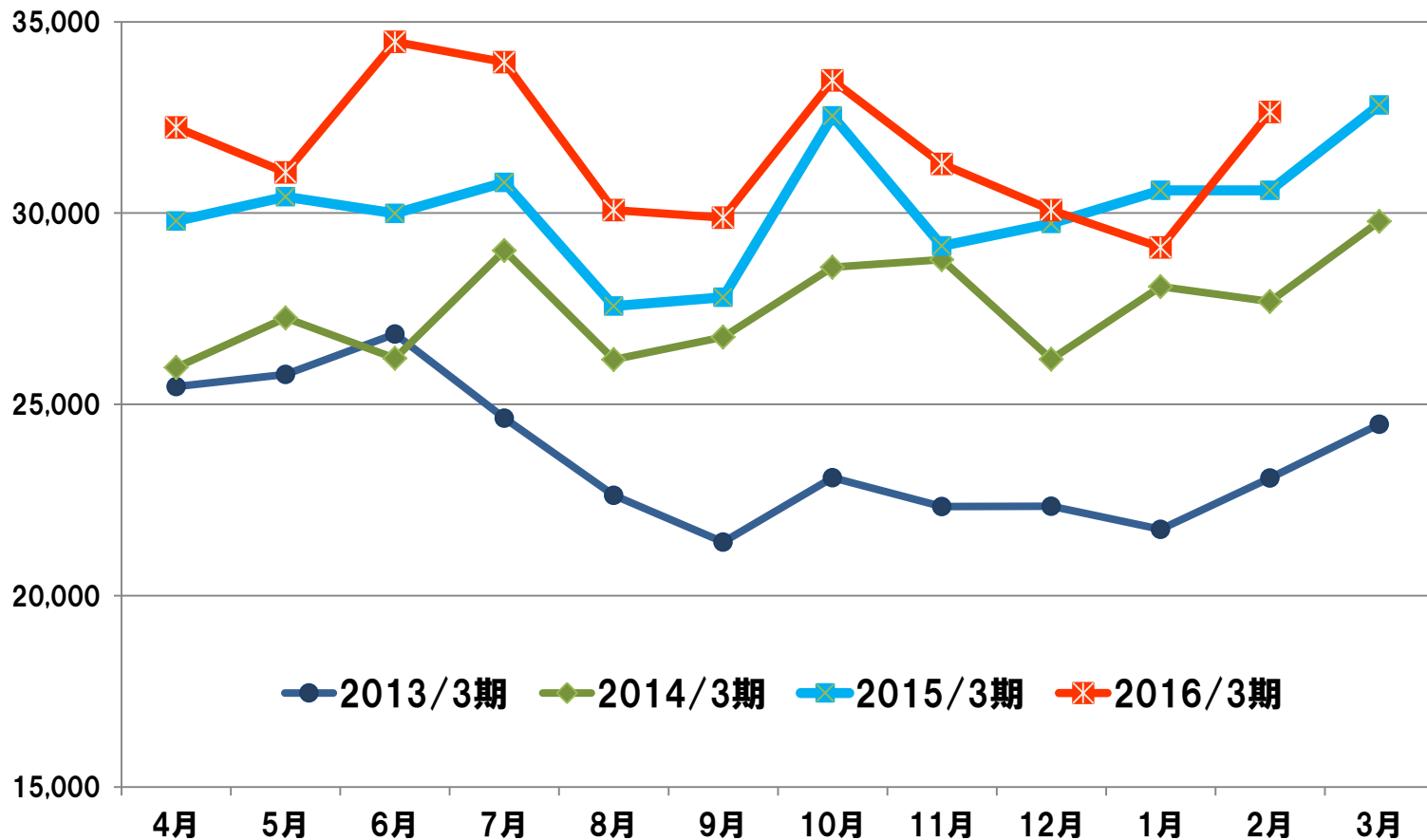
- IoTは全製造業で進む
- 空気圧機器の販売推進強化(当社の原点)
- 自動車・車載部品関連の海外向け設備投資の開拓推進

空気圧機器月次出荷金額推移(年度)

(ご参考)

■ 空気圧機器の需要は堅調

(単位:百万円)



(出所) フリードパワー

得意先の設備投資動向

販売先業種	設備投資状況
デジタル機器	<ul style="list-style-type: none">● 半導体製造装置関連における設備投資は堅調。● スマホ、タブレット端末向けの電子部品関連の設備投資は一服であるが、有機ELの設備投資需要の情報あり。● 中国における電子部品関連の設備投資需要は堅調維持。
自動車・車載部品	<ul style="list-style-type: none">● 国内の一部自動車メーカーの不祥事問題による懸念材料あり。● 得意先の海外子会社向け案件（特に北米・欧州向けの設備品）に期待。● 海外自動車メーカー（HV車）向けの車載部品関連の需要に期待。
伝導・FA・精密	<ul style="list-style-type: none">● 各業界でのロボット需要の高まりに期待。● 自動搬送機等の内需型得意先の設備投資は好調続く。
医療・食品	<ul style="list-style-type: none">● 医療・食品関連の設備投資需要は堅調予想。
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none">● 従来通り、堅調続く見込み。

2017年3月期業績予想

(単位:百万円)

	16/3期	17/3期予想	前年度比 (増減率)
売上高	22,881	22,500	△1.7%
営業利益	1,279	1,090	△14.8%
(営業利益率)	(5.6%)	(4.8%)	(△0.8P)
経常利益	1,379	1,180	△14.5%
(経常利益率)	(6.0%)	(5.2%)	(△0.8P)
親会社株主に帰属する 当期純利益	895	800	△10.7%

2017年3月期取扱商品別売上高予想

(単位:百万円)

	16/3期		17/3期予想			
	実績	構成比	上期	下期	通期	構成比
制御機器	7,732	33.8%	3,600	4,000	7,600	33.8%
F A 機器	10,560	46.1%	4,900	5,500	10,400	46.2%
産業機器	4,587	20.1%	2,100	2,400	4,500	20.0%
連結売上高	22,881	100.0%	10,600	11,900	22,500	100.0%

3. 販売拡大に向けた重点目標と成果

重点目標と成果の状況

販売の重点目標

1 有望な大口得意先の新分野の開拓

2 得意先の海外拠点需要取り込み

3 将来の収益源としての新商品の販売強化

4 強い社員の育成(若い社員の教育)

(当期) 実施した成果

内需型有望製造業の取り込み
車載部品メーカーの取り込み

TOBA.INC.HANOIの人員強化

ろ過フィルターの大型商品化

現場商品の販売推進

国内及び海外の販売要員の確保

+

システム受注の拡大

空気圧機器の販売アップ

販売拡大に向けての方針

① 新たな成長分野の**販路開拓**

- ・マーケティング力の強化
- ・新システム投入によるユーザーサービスの向上

② **海外戦略**の強化

- ・製造業におけるグローバル調達への対応
- ・中国 [鳥羽(上海)貿易有限公司] に続く、海外市場の開拓

③ 次世代に貢献する**有望商品の発掘**

- ・ろ過フィルターに続く、成長商品の発掘

① 新たなる成長分野の販路開拓

- **好調業種への市場の開拓**
 - ・自動車^の電子化ニーズ
 - :安全システム(衝突防止装置等) 装備ニーズの取り込み
 - ・有機EL関連設備の取り込み
- **生活に密着した(内需型)製造業の市場開拓**
- **得意先のグローバル調達への対応強化**
 - ・新システムの投入
- **差別化商品の拡大**
 - ・システム受注(装置、組み合わせ商品)の強化

② 海外戦略強化の状況

グローバルネットワーク

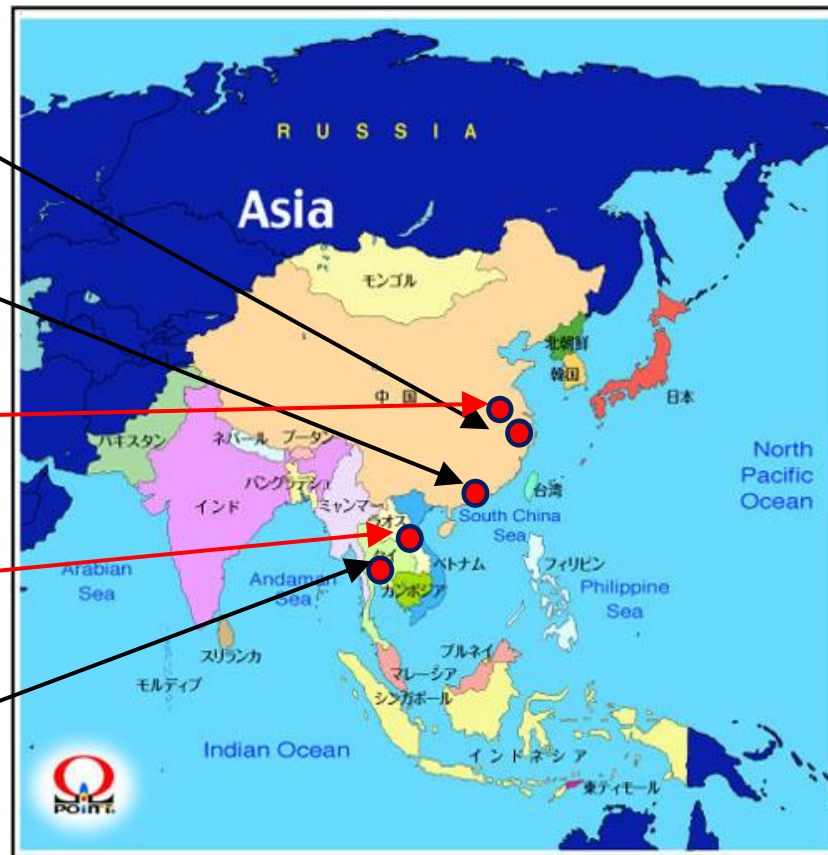
鳥羽(上海)貿易有限公司
(2008年)

(同公司)深圳分公司
(2011年)

(同公司)蘇州分公司
(2014年)

TOBA, INC. (ベトナム駐在員事務所)
(2014年)

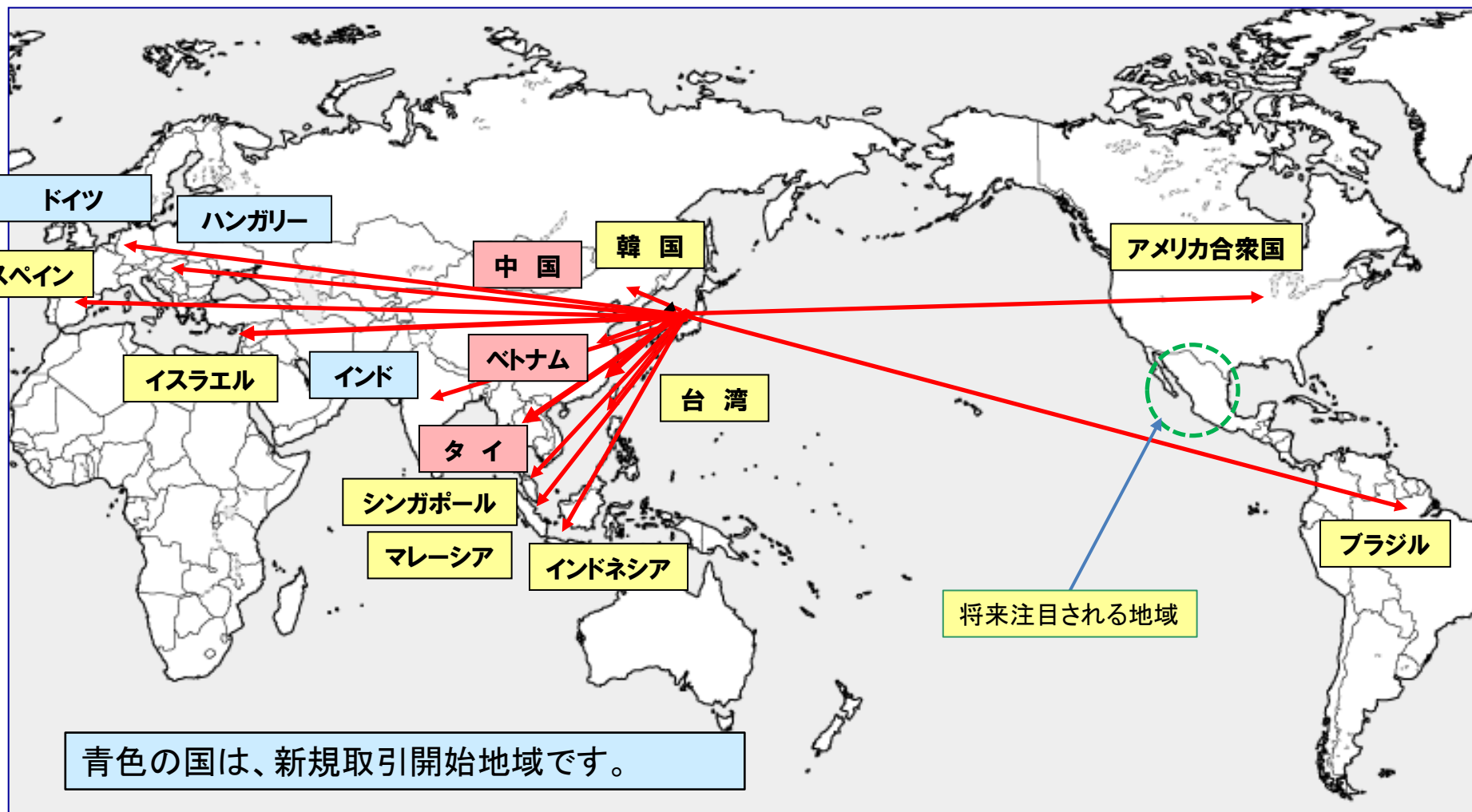
TOBA (THAILAND) CO., LTD.
(2012年)



○海外拠点における営業力強化に向けて、留学生等の人員強化
・**H28年4月にベトナム人1名及び中国人1名が入社**

② 海外戦略強化の状況

日系企業中心に拡大する当社取引



③次世代に貢献する有望商品の発掘

日本インテグリス(株)

- ・液体、ガス・エアのろ過・精製・純化技術に係る製品
- ・半導体及びハイテク産業向けに販売展開



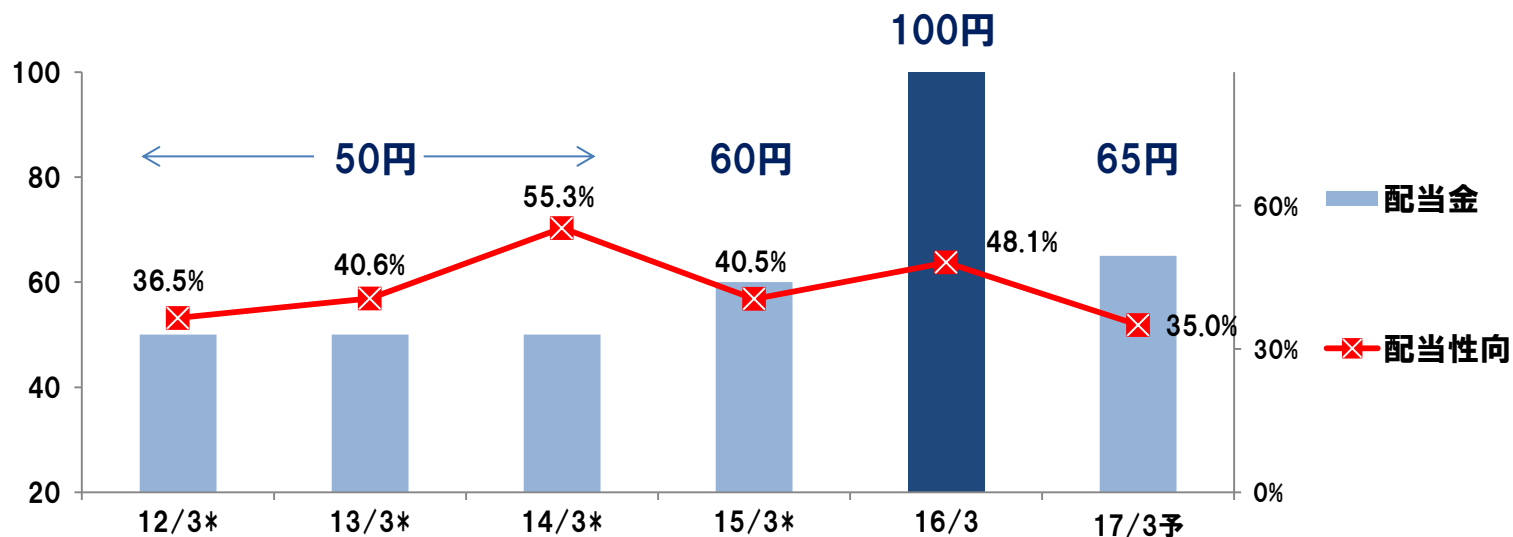
4. 株主還元

株主還元の基本方針決定(平成28年5月13日発表)

■ 株主配当金

- 1株当たりの配当金**40円**を下限
- 連結配当性向は**35%**以上
- 自己株式取得等にも機動的に対応

1株当たりの配当金推移



16/3期配当内訳、普通配当60円、記念配当40円
(*)12/3期～15/3期の配当性向は単体ベース

この資料には、弊社の2016年5月13日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループIR担当

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

FAX番号：03-3944-4091

Eメール：kanri-01@toba.co.jp